

いいとこ

とよの



マップ

花

自然

文化財

史跡

とよの
豊野のいいとこ

あつ
集めてみました

石碑

いいとこ



豊野町は長野市北東部に位置し、飯縄山からのなだらかな丘陵に浅川・鳥居川が作った平地がつながっています。鳥居川と千曲川の合流地点は標高約325mと、市内で最も低い場所となっています。

旧石器時代の土器が出土しており、古くから人々が生活していたと考えられます。中世には荘園の太田荘が置かれ、江戸時代には北国街道松代道と飯山街道との追分に神代宿がおかれしました。明治時代に用水が開削されたため豊かな農地が広がりました。

明治中期に信越本線(現しなの鉄道北しなの線)豊野駅の開設で町は大きく発展し、中野市や小布施町などとの物資の集散地として賑わい、駅前商店街も繁栄しました。

町内に広がるりんご畑は明治時代後期に栽培が始まり、現在豊野町は「りんごとぶどうの町」として全国に知られています。また、各種福祉施設やボランティア活動が充実しており、暮らしやすい「福祉の町づくり」が進められています。



豊野町キャラクター



ゆたかちゃん

平成7年(1995年)生まれ
豊野町の歴史と特産のりんごと子供の安全を見守るお地蔵さん表現したものです。



ゆたかちゃんジュニア

令和2年(2020年)10月13日生まれ
台風19号災害からの復興の象徴として誕生しました。洋服の緑色は豊野の豊かな自然をイメージし、丸い模様は郷土の特産りんご、ぶどう、なしを表しています。

豊野町イメージソング

ゆたかのまち

歌/ダ・カーポ

池田良一 作詞 / 橋詰政夫 作曲
ダ・カーポ 補作詞・補作曲

青木 望 編曲

一、

雪解け清らかな小川の
春の日ざしが扉を開けて
白いりんごの花が咲く
未来に駆け行く

ゆたかのまちよ
とよのまち

二、

緑の大地に陽炎ゆれて
はるか流れる千曲川
青く広がるあの空の
恵みを受けて

ゆたかのまちよ
とよのまち

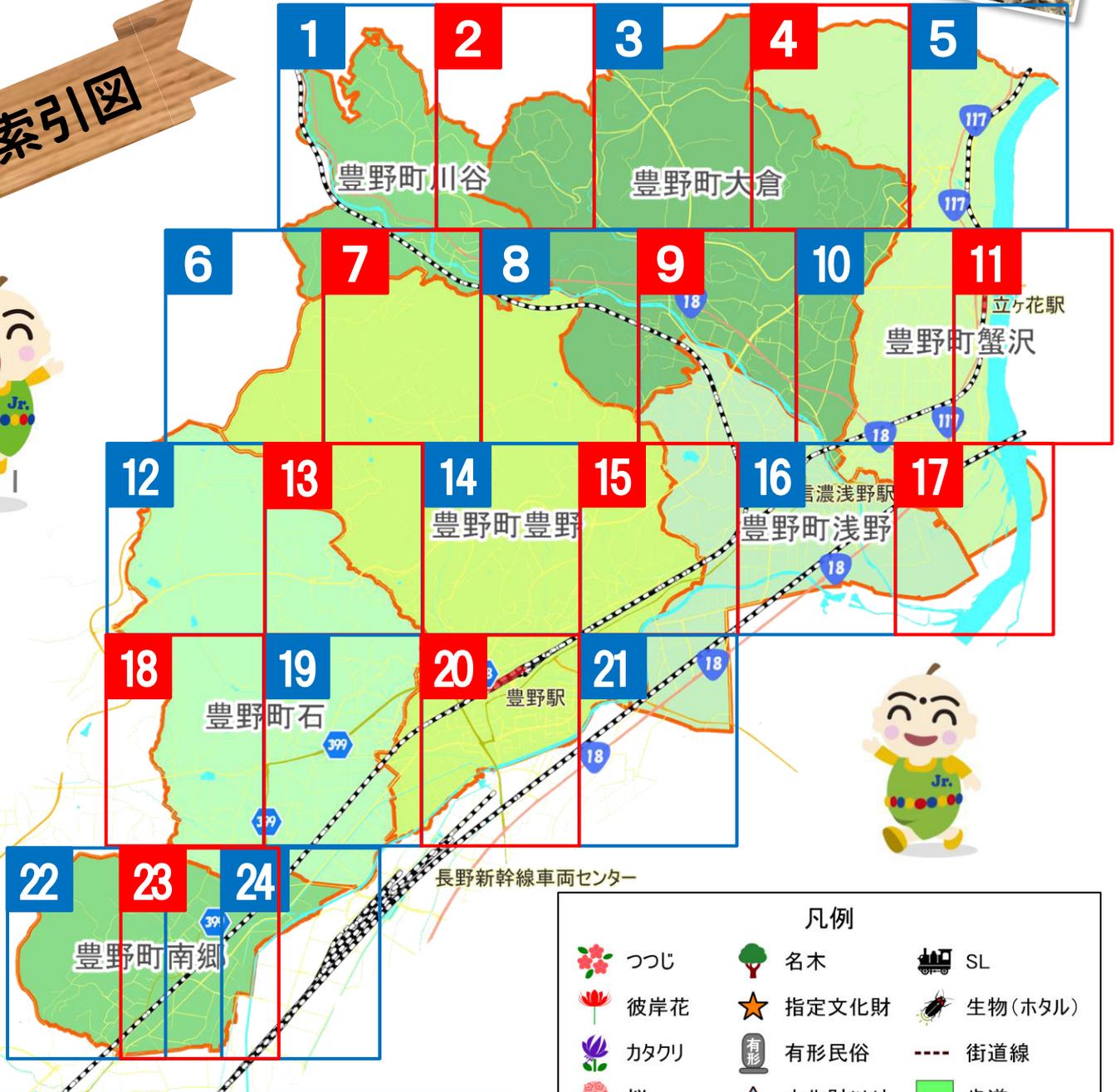
三、

夜空に輝く銀河の星に
明日を夢見る歌がきこえる
窓の灯りに幸せの
微笑みこぼれる

※ゆたかのまちよ
とよのまち
※くりかえし

ご案内

いいところマップ… 1 ~ 24
 とよのウォーキングマップ
 こうき



！ 散策される方へ
 地図に掲載された場所を散策される際には、田畑や植生地のなかへ立ち入らないようにしましょう。
 路上から眺めるときは、車の往来に注意し、通行の妨げや周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。

凡例		
つつじ	名木	SL
彼岸花	指定文化財	生物(ホタル)
カタクリ	有形民俗	街道線
桜	文化財以外	歩道
ハナミズキ	句碑	駐車場
福寿草	石碑	トイレ
レンギョウ	史跡	絶景ポイント
コブシ	地藏	豊野百景